

平成 26 年 4 月 24 日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目 1 2 番 5 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(JASDAQ : 4316)

問合せ先 : 取締役経営管理部長 大谷 英也

(電話 03-5297-2181)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 5 月 14 日に公表した平成 26 年 3 月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 業績予想数値（非連結）の修正

平成 26 年 3 月期通期業績予想修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1 株当たり 純利益
前回発表予想（A）	1,500	90	90	70	21 円 80 銭
今回修正予想（B）	1,340	70	70	90	28 円 03 銭
増減額（B－A）	▲160	▲20	▲20	+20	—
増減率（％）	▲10.6%	▲22.2%	▲22.2%	+28.5%	—
（ご参考） 前期（平成 25 年 3 月期）実績	1,273	74	77	56	17 円 74 銭

※ 当社は平成 25 年 10 月 1 日を効力発生日として 1 株を 100 株とする株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり純利益を算定しております。

#### 2. 修正理由

現時点における前第 4 四半期の事業進捗及び決算取り纏め状況等を踏まえて、通期業績予想を修正するものであります。モニタリング事業での飲食店向け販売の大幅減と、その他の各事業にてこれを回復する受注・売上の確保には届かなかったことから、期初見込の通期売上高には不足し、これにより営業利益・経常利益も低下いたしました。

事業分野別の状況は以下のとおりであります。

##### ① クロスメディア事業分野

平成 24 年 3 月期後半以降、スマートフォンの普及に伴い通信事業者・流通事業者等の設備投資が活発になったことにより、当事業分野の無線 LAN 関連の受注環境が好転しており、当社では、当事業への経営資源集約を進め、受注・売上確保に努めております。当初計画に比べると大型構築案件が減少し売上・利益とも下回りましたが、前年比では増収・増益を見込んでおります。

当事業分野の平成 26 年 3 月期売上高は、9 6 5 百万円程度（前期 8 3 8 百万円）となる見込みです。

##### ② ナビゲーション事業分野

平成 25 年 9 月末をもってコンシューマ向けの「JR トラベルナビゲータ」が終了し売上高が減少したも

の、法人向けサービスや鉄道事業者における無線LANシステム・サービスに取り組み、利益の減少は最小限に留まる見通しです。

当事業分野の平成26年3月期売上高は、215百万円程度（前期243百万円）となる見込みです。

### ③ モニタリング事業分野

大手飲食店チェーン向けの出荷が当初予定を大幅に下回り、予定外の開発・改修費用等が発生したこともあり、売上・利益とも悪化いたしました。前期に引き続き、駐車場、環境インフラ事業者、コンビニエンスストア等へのASP提供の実績作りに取り組みました。今後は、当社他事業との連携により収益の改善を図るとともに、案件の取捨選択を実施する予定です。

当事業分野の平成26年3月期売上高は、110百万円程度（前期189百万円）となる見込みです。

### ④ その他

上記3事業分野を除くTVメタデータ、古地図等につきましては、平成26年3月期の売上高は、50百万円程度となる見込みです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注) 平成26年3月期通期決算短信は、平成26年5月14日に発表する予定です。

(注) 平成27年3月期業績見通し等から見積りを行った繰延税金資産を計上する予定であり、本業績予想には当該予定額を織り込んでおります。確定した金額等については、平成26年5月14日に発表する予定です。

以 上